

事務局体制の確認

選択 **事務局体制の確認**

- グループ内に専任の担当者がいない
- グループ内に専任の担当者を配置している

選択 **事務局の業務委託の確認**

- グリーン化事業に係る業務は事務局内で行っている
- 外部の業者に部分的に業務委託をしている
- 外部の業者に全ての業務を委託している

業者名
 事務局の同一担当者が複数のグループを担当している

選択 **グループのサポート体制**

- 基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
- 設計申請等のサポートが出来る体制になっている
- 施工に関するサポートが出来る体制になっている
- 維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
- 地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
- その他、グループ特有のサポート体制がある

内容 認定住宅の適合証・BELS評価書取得のサポートが出来る体制になっている。

選択 **グループ内の情報共有の方法**

- グループ内で事業説明会を実施する
- SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
- メール・メーリングリストを使った情報発信
- ホームページ等Webを使った情報共有・発信（会員専用ページなど）
- TEL・FAXを使った情報共有・発信
- その他

内容

選択 **所属工務店の廃業等があった際の対応**

- 指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管
- グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
- グループ事務局にて維持管理を代行
- グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
- 第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
- グループ事務局として対応しない
- その他

内容

地域型住宅の仕様、品質に関する取組みについて

選択 **主要構造部における地域材の推奨割合**

- 50%未満
- 50%以上
- 80%以上

選択 **グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組**

- 設計性能評価書を取得している
- 建設性能評価書を取得している
- 耐震等級3を取得している
- ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している
- ZEHに取り組んでいる
- BELSに取り組んでいる
- 低炭素住宅の認定を取得している
- その他

内容

選択	地域型住宅の生産体制に関する取組み
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅で使用する用材の寸法規格化
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。(一部箇所も含む)
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の積算・見積もりに関する統一したルールがある
<input checked="" type="checkbox"/>	使用する地域材の在庫把握の仕組み
<input checked="" type="checkbox"/>	指定(推奨)の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
<input type="checkbox"/>	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
<input type="checkbox"/>	完成保証・地盤補償等の各種保険の添付(瑕疵担保責任保険は除く)
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
内容	グループのスケールメリットを活かした建材・設備等のコストダウンに取り組んでいる。

地域型住宅の維持管理に関する取組みについて

選択	住宅履歴情報の管理・活用について
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
<input type="checkbox"/>	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
内容	継続実施が容易で、かつ事務局も共有できる住宅履歴情報サービス機関を推奨している。

選択	維持管理の実施に関する取組みについて
<input type="checkbox"/>	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input type="checkbox"/>	グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

選択	グループ事務局での維持管理の対応について
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が施工事業者に連絡して維持管理・点検を行う
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
<input checked="" type="checkbox"/>	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない

グループで実施する研修、サポート体制に関する取組みについて

選択	グループで実施、または構成員が参加する研修会・講習会について
<input checked="" type="checkbox"/>	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の維持管理に関連した研修会
<input type="checkbox"/>	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加
<input type="checkbox"/>	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加
<input checked="" type="checkbox"/>	改正省エネルギーに関連した研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	顧客提案等の営業手法等に関する研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	工務店経営に関連した研修会(人材育成・働き方改革・民法改正等)
<input type="checkbox"/>	CCUS(建設キャリアアップシステム)に関連した研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	事業者向け現場見学会
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
内容	事務局から各種研修会・講習会情報を適宜発信している。

選択	グループ(事務局)の未経験工務店の割合
<input type="checkbox"/>	未経験工務店は所属していない
<input type="checkbox"/>	未経験工務店の所属が1/3未満
<input checked="" type="checkbox"/>	未経験工務店が1/3以上
<input type="checkbox"/>	未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない

受付番号

393

グループ名称

「美し国の家」普及促進協議会

様式3

選択

グループの未経験工務店に対するサポート体制

- 未経験工務店への優先サポートの実施
- 地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意
- 各種認定取得サービスの活用提案
- 施工管理・施工検査のサポート
- 営業支援（提案書作成・営業同行）
- 事務局による交付申請書類作成支援
- 事務局による実績報告書類作成支援
- 特にサポートは行っていない
- その他

内容 験工務店への性能住宅の提案及び申請書類作成等のサポートは優先して行うようにしていま

地域型住宅の地域社会との連携や継承についての確認

選択

地域型住宅として地域社会との連携・継承等について

- 地域の伝統的なデザインの継承を意識している
- 地域の街並みの継承を意識して対応する
- 地域の住まい方の継承を意識して対応する
- 地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

災害時等への対応についての確認

選択

災害発生時・発生後の対応について

- 特に取り決めしていることは無い
- 取組みを行っている

ープとして応急仮設住宅の建設を始め、復旧・復興等への対応を最優先に取り組み、地域貢

※ 災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

- 情報提供を受る

受付番号

393

グループ名称

「美し国の家」普及促進協議会

グループの取組み等PRポイントについて

「美し国の家」普及促進協議会は2012年に発足して以来、地域の優良な工務店と共に耐震性・耐久性や省エネルギー性能に優れ、且つ、この地域の特性に合った安全・安心・健康・快適な地域型住宅「美し国の家」を普及し続けています。南海トラフ巨大地震の発生による大きな被害が想定される、また温暖地であるがゆえ、断熱性の低い住宅が多くあり、ヒートショックが原因とみられる冬季の死亡率が全国でも上位となっている地域であることから耐震性や断熱性を重視した家作りを行い、地域に住むすべての人々が安全、安心、健康で快適な暮らしが出来るよう、グループあげて取り組みを行っています。自然災害発生時には応急仮設住宅の建設等、復旧・復興へグループとして

地域型住宅の性能・アピールポイントについて

んでいます。長期優良住宅は耐震等級2以上ですが、耐震等級3での認定取得を、それ以外の住宅については構造計算又は耐震等級2以上を推奨しています。ゼロエネ住宅や今秋にZEH水準になる長期優良住宅や認定低炭素住宅をさらに普及させるためにBELS認証取得の継続をすすめています。またお施主様にその性能が暮らしにどのようなメリットをもたらすのかをわかりやすく説明できるツール作成を行っています。また三重県は森林資源に恵まれた優良な木材生産地であることから内装の木質化を推奨することで心地よい住環境の実現を提案しています。

地域型住宅における地域材の活用について

地域材の活用については工程・工期の確実な実施が出来るよう、安定供給が可能となる一般的に流通される木材規格寸法を極力使用することとし、設計段階から間取り等に配慮します。また地域材の供給量確保及びコストダウンに繋がるよう、供給元に情報収集を行い、グループ内で情報を共有しています。主要構造部における地域材の活用ルールは①地域材を「三重の木」認証制度または合法木材証明制度（国内・国外）、クリーンウッド法に基づく証明（国内・国外）の木材とする。②主要構造部には当グループの地域材を50%以上使用する。③主要構造部には「三重の木」認証制度または国内産の合法木材証明制度による木材を10%以上使用する。また、三重県は森林資源に恵まれた優良な木材生産地であることから、主要構造部だけではなく、調湿作用や癒しを与える木材

引き渡し後の維持管理について

引き渡し後の維持管理についてはグループ化事業説明会やその他研修会の際には争あることについての必要性和重要性について説明し、施工工務店に向けた啓発活動を行っています。維持管理については施工工務店ごとに各社の維持管理計画に沿った維持管理・点検を行っていただきます。事務局としてはいえかるでの登録事業者での管理を推奨しています。特に確実な維持管理が継続実行されるために点検時期を事前に知らせる機能を持つ住宅履歴情報サービス機関を推奨しています。今後は維持管理の代行業者等の活用も併せて情報収集を行い、案内を行っています。所属工務店の廃業等への対応についてはグループ事務局が窓口になり、お施主様の意向に沿った対応を行うこととしていきます。

消費者相談窓口の有・無と対消費者に対する対応内容

- 消費者相談窓口がある

相談窓口等を設置（059-234-3301 support@asahiken.co.jp）し、対応できるように体制を整えています。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (ゼロ・エネルギー住宅型)

様式5 モデルプラン

グループ名称	「美し国の家」普及促進協議会			
R3採択グループ番号	10	-	0459	- 0404

F: 交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	申請事業者(施工事業者)にて実施	<input checked="" type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)
<input type="checkbox"/>	その他				

(1)-6 : モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目				
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)	
<input type="checkbox"/>	その他			

(1)-7: モデルプラン計算結果(必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください)

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)	
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション		
1	5	0.6	106	25	<input checked="" type="checkbox"/>	5.2					
2	6	0.6	102	26	<input checked="" type="checkbox"/>	4.8					
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問(3)でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)	
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション		
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

(2) 評価委員会による評価 (評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります)

(2)-1: 導入する省エネ手法をお答えください

選択項目				
<input type="checkbox"/>	空気集熱式太陽熱利用システム	<input type="checkbox"/>	地熱利用	
<input type="checkbox"/>	その他			

(2)-2: 現在の運用をお答えください

選択項目					
<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入している		<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入していない	